

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">雪谷大塚園</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">良い部分</p> <p>【経営層の役割について】 人財育成や目指すべき保育の確立に向け園運営をしている⇒園長マニュアルへの対応、流れる保育マニュアルの作成責任者 職員のチャレンジを大切にして園長の職務や役割遂行に意欲的に取り組みをしている</p> <p>【人財育成について】 期待をして指導することで実際に期待に応えるようになる(成果が上がる)ことをピグマリオン効果というが職員の自己評価でもモチベーションが高い職場である</p> <p>【情報の提供】 必要な情報を利用希望者や保護者が入手しやすいように積極的に情報提供されている</p> <p>【保育計画作成について】 チャレンジキッズの強みである配慮に関して初めての保育士でもどのような配慮をするか配慮事項みればすぐにわかるように細やかに配慮面を指導計画に盛り込まれている</p> <p>【子ども一人ひとりの尊重について】 言葉を覚え始めた子どもたちの前で正しい言葉ややさしい表現で伝えるように配慮をしていた</p> <p>【業務の標準化】 各園での取り組みに刺激を受け相乗効果によりサービスの向上が促されている</p> <p>【保育環境の設定について】 グループ園での情報共有により他園の良いものは吸収して活かすなど意識の高さがうかがえる</p> <p>【自主性・自発性の発揮について】 コーナー保育をするなかで遊びこめていない子に対して強制していないことや否定的な言葉を使わずに声掛けをしていることをスタッフが意識している</p> <p>【保健・衛生について】 2歳児と1歳児の部屋で構造上室温が違うため温度と湿度に気を配っている</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">改善点</p> <p>【意思決定について】 スタッフの責任感は各自振り分けた仕事について使命感の差があり、実行の状態や理解度にも差がある。これはスキルに属する要素あるため階層別研修が必要</p> <p>【地域との交流について】 基本的にできているがモデル園としてはもっと率先して地域向けの情報公開を積極的に進め接点・機会を増やしたい</p> <p>【計画の策定について】 園毎に目標と課題が設定されていたが、それが十分明示されていなかった 目標と課題に対する改善の計画を策定して実行する体制づくりに向け、まずは共有し問題意識、課題意識を高めることが必須。更には横軸、縦軸での展開で相乗効果を図る</p> <p>各スタッフの目標管理について細かな進捗管理ができていないと園長は考えている</p> <p>【行事について】 絵本の選び方や歌などで普段の遊びから行事を感じられるような進め方も今後の課題として更なる工夫が必要</p>